

【保護者向け】児童発達支援評価表

記載日:令和4年度

利用者 16名 回答者 15名 回収率 94%

療育ルームオーロラ

公表日:令和5年3月31日公表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%				・気持ちか乗らすすみこに行きたい時、別室かあるとことで、気持ちを落ち着かせることが出来る。・いつも走り回っています。・のびのびと活動しています。・広い空間でのびのび活動出来ていると思います。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	75%	25%			・一対一対応の対応で、ありがたいです。・子供3人に保育士2人は十分くらい。・専門性は不明だが配置は適切です。
	③	支援空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 i になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%				・適切になっていると思います。・本人に分かりやすく活動内容を説明し、楽しく活動が出来ていると思います。
	④	支援空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	75%	25%			・いつもきれいにです。・とても清潔感があります。
適切な 支援提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか	92%	8%			・毎回、「〇〇できた!」「どうだった!」とか教えてくれて、分かりやすい。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「(児童発達支援の提供すべき支援)」「(本人支援及び移行支援)」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	83%			17%	こに来るとで、また一つ世界が広がっていい刺激になっていると思
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	92%			8%	
	⑧	活動プログラム iii が固定化しないように工夫されているか	100%				・固定化されないがながらも順序だててやって頂いている。・製作をしたり、体を動かしたりと色々な活動が出来ています。
護者への 明責任等	⑨	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				
	⑩	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	83%	85%		8.50%	・終わりに今日は〇〇をして〇〇が苦手かな?「お家でも様子を見てね」と言われるので、子供がどの位できるのか分かりやすい。
	⑪	保護者に対して家族支援(ペアレント・トレーニング iv 等)が行われたか	66%	17%		17%	・色々な相談させていただいています。・先生との会話から、子供の行動を見る視点が、違っている事に気づきとても良い。
	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況や課題について共通理解ができているか	83%	17%			・状況を伝えやすい雰囲気なため、相談、発達の状況等が言いやすい。・いつもお世話になっています。・親自身は気が付かない課題を教えてもらったり、子供との接し方を考え直すきっかけになっています。・幼稚園の先生から聞いたことを伝え、発達の状況などを共通理解出来ていると思います。
	⑬	定期的に、保護者に対して面談や育児に関する助言の支援が行われているか	92%	8%			・いつも密接に連絡をさせてもらっています。

	⑭	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	92%			8%	
	⑮	子どもや保護者との意思の疎通や情報の伝達のための配慮がなされているか	100%				
	⑯	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	67%	8%	8%	17%	・お便りをもって、他の子どもたちが楽しそうで何よりです。
	⑰	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	92%			8%	
非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	68%	16%		16%	
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	42%	25%	8%	25%	
満足度	⑳	子どもは通所を楽しみにしているか	82%	9%		9%	・はじまりの会が始まると気分が乗らないことの方が多いが、「療育行く?」「早く療育行こう」と楽しみにしています。・気まぐれな子どもなので行きたがらない日もありますが、言って帰る頃にはご機嫌です。・毎週子供たちに合った活動をやってくれるので楽しんでいます。・友達や先生にあって遊ぶのを楽しみにしています。
	㉑	事業所の支援に満足しているか	92%			8%	・通い始めは心配していたコミュニケーションが苦手の問題は、今ではだいぶ取れるようになりました。

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、活動の目的などこの部屋で何をすることが分かり易くする。
- ii 「児童発達支援」は、利用する子どもの、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関する支援計画の情報を通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質の向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意点などを記載する計画のことです。これは、児童発達管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、支援の中で、一定の目標もって行われる活動のことです。利用児の障害特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施される事が想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害を踏まえた褒め方等を学ぶ事により、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」に「○」して頂き「ご意見」も記入ください。